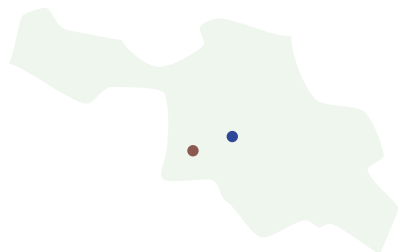


写真でよみがえる50年 vol. 9



—— 中央公民館・勤労青少年ホーム落成 ——
 —— コミュニティセンター・児童館落成 ——

昭和54年 中央公民館・勤労青少年ホームがオープン

整備される公共施設

町の社会教育施設として、講座や各種サークル活動の拠点として多くの町民のかたに利用されている中央公民館・勤労青少年ホームがオープンしたのは昭和54年4月のことでした。この勤労青少年ホームは、当時としては県内初の施設でもありました。

昭和59年4月にはコミュニティセンター・児童館（現西児童館）がオープンしました。舞台ホールでは、民謡、歌謡、音楽、芸術鑑賞などの事業や、ここを会場にふるさとまつりも行われるようになりました。



昭和59年 コミュニティセンター・児童館がオープン

ふるさと
白岡紀行

「なかななかやるな
中学生」
 奉仕・社会体験活動推進校として本校は、平成2年篠津中学校から分離開校し、今年で15年目を迎えます。本校の特徴的な教育目標「誠」「明」「健」は諸橋謙次氏の古典の叢知「誠明健」からの出典であり、開校当時の本校に寄せられた熱い思いが伝わってきます。本校の特色は、何よりも、この



全校福祉体験講座（手話）

わが校自慢

白岡中学校

教育目標のもと、礼儀正しく意欲的な落ち着いた生徒が育っていることです。

この、よき校風を踏まえ、今年度は、県の中高一貫奉仕・社会体験活動推進事業「なかななかやるな中学生」に、生徒会を中心に全校的に取り組みました。

生徒会を中心に、各専門委員会が企画し、全校生徒に呼びかけ、参加者を募り、多くの奉仕・社会体験活動を実施してきました。

光の里や翔裕園などの福祉施設訪問、保育所での絵本の読み聞かせやプール補助、早朝クリーン作戦、白岡まつりでのミニ新幹線運営、ソーラン節、赤いはね街頭募金、種のプレゼント、全校的に取り組みました。

これらの活動の中、新潟県中越地震の被災者に対して何かできないかということで、募金活動や、励ましの手紙を送ろうという声があがり実施するなど、着実に、生徒たちに思いやりの心や地域に貢献する態度が根付いてきています。



赤いはね街頭募金（白岡駅前）